

～ 令和5年11月以降の主なトピックス ～

1 市電・市バスフォトコンテスト及び乗車マナーポスターコンテストの開催

(1) フォトコンテスト

市電・市バスを身近な乗り物として親しみをもってもらうとともに、交通局への関心を高めていただくことを目的として、フォトコンテストを開催し、街中を走る市電・市バスの季節感あふれる写真を募集したところ、20点の作品が集まり、6点の入賞作品を表彰した。

入賞作品は、2月末まで上荒田局舎1階の乗車券発売所前で紹介したほか、局HPでの公開、令和6年度以降に製作する局オリジナルカレンダーにも掲載予定。

(2) 乗車マナーポスターコンテスト

小学生から乗車マナーに関するポスターを募集し、作品をマナー啓発に活用することで、市電・市バスの安心して快適な車内環境の向上を図ることを目的として乗車マナーポスターコンテストを開催し、鹿児島市内の小学校及び特別支援学校の小学部に通う児童を対象として募集したところ、下学年の部で34点、上学年の部で36点の作品が集まり、各部門4点ずつ入賞作品を表彰した。

入賞作品は、2月末まで上荒田局舎1階の乗車券発売所前で紹介したほか、市電・市バスの車内に掲出、局HPでの公開、令和6年度以降に製作する局オリジナルカレンダーにも掲載予定。

フォトコンテスト・
乗車マナーポスターコンテスト
入賞作品紹介HP掲出記事



フォトコンテスト・
乗車マナーポスターコンテスト
表彰式の様子HP掲出記事



2023 フォトコンテスト

最優秀賞 「顔が見えないのは…うれしいこと？」



2023 乗車マナーポスターコンテスト

下学年の部 最優秀賞「だいじょうぶ？
あなたの行動 よい行動？」



2023 乗車マナーポスターコンテスト

上学年の部 最優秀賞
「ヘルプマークを知ろう」



2 電車運賃箱の改修について

(1) 趣 旨

7月からの新紙幣及び新500円硬貨に対応するため、電車運賃箱の改修を行った。

(2) 概 要

【完 了】令和6年3月29日（金）

【台 数】55両（車載運賃箱110台）

【内 容】運賃箱の紙幣識別器とアダプタ部の交換作業を行った。

【作業の様子】



3 センターポール照明のLED化について

鹿児島市交通局では、2020年以降、水銀灯の製造や輸出入が禁止となり、今後入手が困難になることや、価格の高騰が予想されることなどから、併用軌道区間（鹿児島駅前～涙橋間）におけるセンターポール照明に使用されている水銀灯489個をLEDへと更新する。

令和5年度は、中郡停留場～涙橋停留場、郡元停留場～みずほ通り交差点間の102灯の更新を実施した。



4 併用軌道横断歩道の舗装改修について

併用軌道における横断歩道の大半は敷設から30年以上経過しており、電車通過時の振動や軌道敷内をUターンする自動車により舗装版の溶岩石が割れて凹凸があり、舗装版とレールに段差が生じていることから舗装やレールの改修を行い歩行者の通行の安全を確保するものである。

令和5年度は、いづろ中央交差点といづろ通交差点（鹿児島駅側）を実施した。



〔 改 修 前 〕



〔 改 修 後 〕

5 EVバス・充電設備の導入

鹿児島市が推進する「ゼロカーボンシティかごしま」の一環として、更新対象7両のうち2両について、公営交通としては先進的取組となるEV（電気）バスを導入し、また、それに付随して、充電設備を新栄営業所内に設置した。

概要

EVバス

EVモーターズ・ジャパン(株)製 F8 series2-City Bus 8.8m 路線バス

運行路線 17番宇宿線、18番大学病院線

航続距離 280km

※EVバス2両のうち1両は、運行開始直後に車両の初期不良による不具合が発生し、走行不能が続き、予備車で運行中。(なお、ダイヤへの影響等はなし。)

充電設備

EVモーターズ・ジャパン(株)製 型式番号 ENE-DCL040B-J 充電器容量 40KW



6 バス停留所上屋、ソーラー照明付き標識の設置

鹿児島市交通局では、一般財団法人日本宝くじ協会からの助成を受けて、一般社団法人公営交通事業協会が実施している「モデル・バス停留所施設設置事業」により、バス停留所上屋、ソーラー照明付き標識の寄贈を受け設置している。

令和5年度は、「日当平住宅前バス停」に上屋、「三和町バス停」にソーラー照明付き標識の寄贈を受けた。



令和5年度バス停上屋「日当平住宅前」
(5番 日当平線、5-3番 日当平線(玉里
団地北・さつま団地・城山団地経由)、
51番 薩摩団地線)



令和5年度ソーラー照明付き標識
「三和町」
(11番 鴨池・冷水線)

7 クレジットカードタッチ決済について

(1) 趣 旨

市電で導入しているクレジットカードタッチ決済について、令和6年3月1日から市バスの全車両（あいばすを除く）に導入するとともに、新たなサービスであるクレジットカードタッチ決済月額上限設定割引を開始した。

(2) 概 要

① 車両数

市電 55両（全車両） 令和5年3月28日全車両導入

市バス 124両（あいばすを除く全車両） 令和6年3月1日全車両導入

② 利用できるクレジットカードのブランド

Visa、JCB、AMERICAN EXPRESS、Diners、DISCOVER、**銀聯（令和5年9月追加）**

※Mastercardについては導入に向けて協議中

③ 利用実績（令和5年度実績）

市電（R5.4.1～3.31） 延べ518,994人 87,759,702円

市バス（R6.3.1～3.31） 延べ 8,886人 2,029,020円

合計 延べ527,880人 89,788,722円

④ 利用率等（令和6年3月実績）

令和6年3月分タッチ決済比較表

	タッチ決済				現金		対現金	乗車券全体※	対乗車券全体
	人数計 a	決済金額	一日平均		人数 b	金額	a/b	人数 c	a/c
			人数	金額					
電車	65,479	11,075,480	2,112	357,273	408,299	67,735,306	16.0%	944,590	6.9%
バス	8,886	2,029,020	286	65,452	136,326	26,988,842	6.5%	508,409	1.7%

※定期券、ICカード、敬老パス、一日乗車券等含むすべて

参考：市バスのタッチ決済も市電と同様に、乗車と降車でタッチが必要となります。



（降車リーダ）



（乗車リーダ）